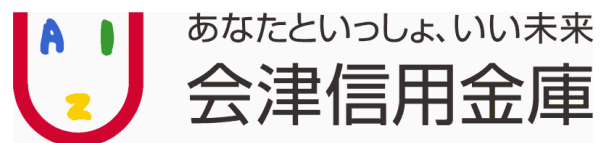


地域の成長と価値創生に向けた金融仲介の取組み

～金融仲介機能のベンチマーク(令和3年3月末基準)～



1. 金融仲介機能の取組み方針

- 当金庫は、中期経営計画『あいしん「共創力」発揮 2018～地域と共に未来へ歩み続ける協同組織金融機関を目指して～』において、「課題解決型金融の取組み強化と地方創生支援」を経営課題の1つに掲げ、各種施策に取り組みます。
- 当金庫の取組みに対する客観的な指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、金融仲介機能の質を一層高めてまいります。

「あいしん共創力発揮 2018」

～地域と共に未来へ歩み続ける協同組織金融機関を目指して～

計画期間：平成30年4月～令和3年3月（3年間）

計画目標

地域社会に必要とされる金融機関であり続ける

課題

1. 収益力の強化
2. 経営基盤拡大・業務効率化
3. 課題解決型金融強化・地方創生支援
4. 経営管理態勢の充実・強化
5. 人材確保・育成と雇用制度改革

ベンチマークの
積極的な活用

金融仲介機能の質の向上

課題解決の取組み強化

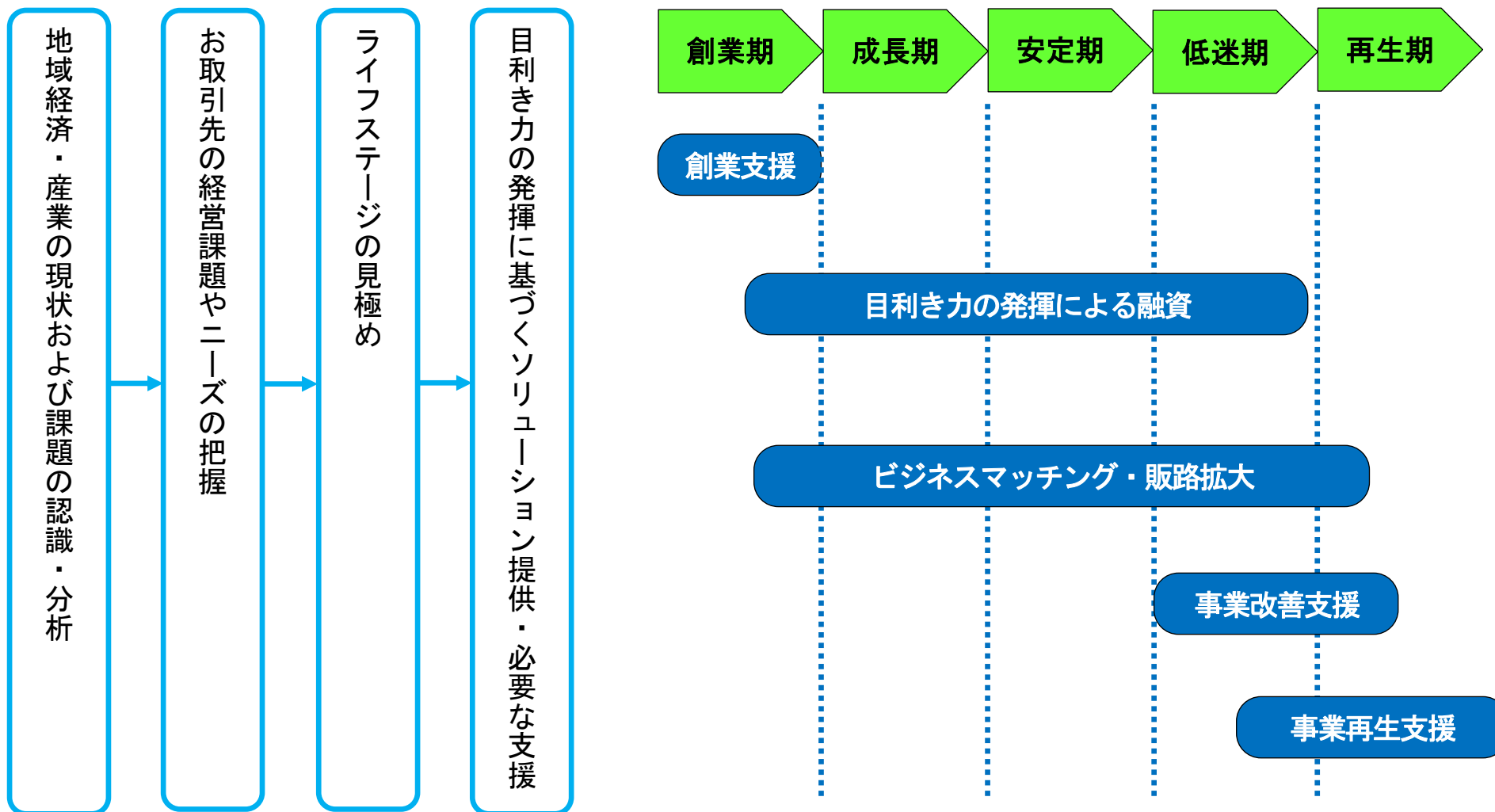
成長支援等の取組み強化

独自性・特性の発揮

※「金融仲介機能のベンチマーク」とは、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標のことです。

2. 地域経済の活性化に向けた取組み概要

■ 地域密着型金融の推進などを通じて適切な金融仲介に努め、お取引先の資金調達への対応や成長を支援し、地域経済の活性化に貢献します。



3. お取引先（中小事業者のお客さま）の状況

- お客さま本位のサービスの徹底によって、取引先数の拡大を図っています。
- あらゆるライフステージのお取引先と、経営状況に合わせた様々な取引を推進します。
- 金融仲介機能の発揮によって、お取引先の成長と改善に貢献します。

◆取引先数の推移

(単位:社)

	平 31/3	令 2/3	令 3/3
取引先数	1,481	1,444	1,610
都市部	966	959	1,090
その他	515	485	520

※都市部：会津若松市・喜多方市

※その他：会津地区の町村

選択ベンチマーク 1

- 地区内の事業所数は減少傾向にあるが取引先数は増加
- 取引先数は「都市部」・「その他の町村」ともに増加

◆ライフステージ別の融資取引先数（令 3/3）

(単位:社、億円)

	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期	計
先数	39	62	674	37	72	884
融資残高	16	33	327	22	43	441

※創業期は創業5年以内、成長期・安定期・低迷期は売上増加率により区分、再生期は貸出条件変更先および延滞先

共通ベンチマーク 4

- 売上順調な先(成長期・安定期)は全体の83%で前期より上昇(前期79%)
- 低迷期先は前期29→37(増加)、創業期先は前期42→39(減少)
- 再生期先は前期75→72(減少)

◆経営指標が改善した先（令 3/3）

(単位:社、億円)

	メイン先	うち改善先
先数	585	442
融資残高	325	242

※売上高、営業利益、雇用者数のいずれかが前年度比改善した先

共通ベンチマーク 1

- 経営指標が改善した先数は、前期366→442(増加)
- メイン先数は前期540→585(増加)
- メイン先融資残高は前期253億円→325億円(増加)

4. 創業・成長支援、観光誘客支援

- 地域の持続的な発展に資するため、創業や成長支援による地元産業の育成、雇用創出に取り組んでいます。
- 金庫内や信用金庫業界のネットワークを活用し、商談や情報提供の場を提供しています。
- 原発事故風評被害払拭を目指し、業界のネットワークを活用し観光誘客活動に取り組んでいます。

共通ベンチマーク3

◆創業支援件数、融資額(令和2年度) (単位:件、百万円)

創業件数	5
融資金額	74

- 創業を目指すお取引先の資金調達ニーズに対応
(令和2年度 美容業1先、不動産賃貸業3先、レンタカー業1先)

◆本業支援先数(令和2年度) (単位:社)

ビジネスフェア出展	10
販路拡大支援	2

- 業界の中央団体や連携信用金庫が開催するビジネスフェアに参加するほか、販路拡大支援をサポート
「2020 よい仕事おこしフェア」(当金庫取引先1社出展)
「ビジネスマッチ東北2021春」(当金庫取引先9社出展)
当庫取引先同士のマッチング 2先

◆観光客誘客数(令和元年度) (単位:人)

平成23年度~29年度	31,057
平成30年度	3,691
令和元年度	580
合計	35,328

- 東日本大震災・福島原発事故からの復興・風評被害払拭を目指し、信用金庫業界の団体旅行の誘客に取り組んでいます。
- 平成23年度からの累計誘客数は、35,328人となっています。

※ 令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響で観光客誘客は実施しておりません。

5. 担保・保証に過度に依存しない融資

- 担保・保証に過度に依存することなく、お取引先の成長可能性や事業の将来性を適切に評価したご融資に取り組んでいます。
- 経営者保証に関するガイドラインに基づき、経営者保証に依存しない融資について、ご相談に応じています。

◆ 目利き力の発揮による融資先(令3/3) (単位:社、億円)

	地元中小企業融資	無担保融資
融資先数	1,620	1,325 (81.8%)
融資残高	451	228 (50.6%)

選択ベンチマーク7

- 経営事業内容や返済能力を重視した審査により、無担保融資先は8割を超える1,325先
- 無担保融資残高は前期135億円→228億円(増加)

◆ 無保証融資先(令3/3) (単位:社)

	地元中小企業融資	無保証メイン
融資先数	1,620	360 (22.2%)

※信用保証協会と保証会社の保証がない先

選択ベンチマーク9

- 信用保証協会や保証会社の保証がないメイン先は、地区内融資先の2割を超える360先

◆ 経営者保証がガイドライン活用先(令3/3) (単位:社)

	全与信先	活用先
融資先数	1,620	76 (4.7%)

選択ベンチマーク11

- 経営者保証の必要性は、お取引先の経営状況と保証提供の意向を踏まえて判断。活用先比率は前期4.1%→4.7%(増加)

6. 経営改善、事業再生支援

- 外部機関との連携による経営指導、および経営改善計画書の策定支援に取り組んでいます。
- 取引先の資金繰り支援として、短期継続型融資に取り組んでいます。
- 外部機関を活用し、お取引先の事業再生支援に取り組んでいます。

◆貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善

計画の進捗状況(令3/3) (単位:社)

	先数	好調先	順調先	不調先
条件変更先	122	34	38	50

共通ベンチマーク 2

- 経営改善計画策定支援、ビジネスマッチング等の本業支援
- 経営改善計画が好調先 38→34(減少)、順調先 43→38(減少)
不調先 43→50(増加)

◆運転資金に占める短期融資の割合

(単位:億円)

	運転資金額①	短期融資額②	②/①
融資額	397	21	5.3%

選択ベンチマーク 33

- 運転資金融資額に占める短期融資額の割合は 5.3%

◆中小企業再生支援協議会との連携(令和2年度) (単位:社)

支援先数	2
------	---

選択ベンチマーク 42、43

- 福島県中小企業再生支援協議会と連携(2社)

◆本業支援に中小企業支援策活用(令和2年度) (単位:社)

支援先数	3
------	---

- 福島県よろず支援拠点(3社)

7. 地方創生への取り組み

- 信用金庫ネットワークを活かした広域連携活動等で、地域経済の持続的発展に取り組んでいます。
- 文化、地域経済、教育の面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでいます。

「東北・夢の桜街道運動」絵画展開催	日本財団「わがまち基金」を活用した地方創生支援スキーム	
	地域の活性化事業への取り組み	事業スキーム図
	<p>栃木県の鹿沼相互信用金庫と共同で、日本財団「わがまち基金」の助成制度を活用し、鹿沼・日光・会津地域における with コロナ・after コロナに向けた持続性の高い観光地づくりに取り組み、地域のブランド力向上を目指しております。</p> <p>【事業概要】</p> <p>●両金庫の営業エリア（栃木県鹿沼・日光エリア及び福島県会津若松エリア）において、新規観光客の獲得に伴う観光活性化及び自金庫の営業エリア内の地域団体の職員や県を跨いだ信用金庫職員等との交流を生み出すことで、自金庫職員の人材育成及び勤労意欲の向上等につなげることを目的として、コロナ禍における持続可能性の高い観光地づくりを構築する事業。</p> <p>●具体的には、両金庫、鹿沼市、日光市、会津若松市、観光団体、首都圏の信用金庫及び鉄道会社・自動車会社が連携し、両金庫の営業エリアにおいて、①観光客の3蜜を防ぐ受入態勢の整備を支援、②個人・小規模団体・大規模団体向けに次世代小型EV等を活用した新たな体験型観光の旅行商品の開発・提供、③多言語情報サイトを活用したインバウンドの誘客を促進。</p> <p>●本事業により、コロナ禍に適した誘客促進による地域経済回復への貢献を図り、両金庫のエリアの認知度向上、観光客数増加に伴う地域ブランドの向上を目指す。</p>	
「ビジネスマッチ東北 2021 春」への出展		